

販売革新部門

徳島県上板町 有限会社NOUDA

(代表：のうだ 納田 あきとよ 明豊 氏)



○ 経営規模：養豚 1,440 頭

(注) 数字は令和4年当時のもの

経営展開のポイント

- 平成 18 年に現代表が、後継者がおらず廃業寸前であった養豚会社を継承し、平成 25 年に現社名に変更した。経営継承後は、経営を安定化させるためには、他社との差別化が必要と考えてブランド化に注力した。
- 県のブランドサツマイモである「なると金時」を食べて育った豚の肉質が良くなることから、近隣のサツマイモ農家から規格外品を集めてエサとして利用する体制を整え、こうして育てた豚を「阿波の金時豚」として自社ブランド化（商標登録）した。また、豚のストレスを低減するために豚舎におがくずをバイオベツトとして採用するなど、意欲的に品質の向上のための技術導入を図った。
- また、自社で食肉加工できる体制を整備し、常に肉質を確認しながら、高品質で多様な加工品を製造できるようになった。オンラインショップでは、ウインナー等の加工品や多様な規格の豚肉を市場を通さないことなどで経費を節減し、消費者に比較的安価に販売していることから、全国各地との取引が実現している。